

3. 第22回生命表について

今回公表する完全生命表は、通算して21回目（第7回は欠番）にあたる平成27年の完全生命表であり、平成27年国勢調査による日本人人口の確定数、人口動態統計の確定数（平成27年死亡数、平成26年及び平成27年出生数）を基に作成している。

（1）主な年齢の平均余命

平成27年の第22回生命表における0歳の平均余命（平均寿命）は、男80.75年、女86.99年であり、前回の完全生命表と比較して、男は1.20年、女は0.69年上回った。

平均寿命の年次推移をみると、戦前は50年を下回っていたが、昭和22年の第8回生命表の平均寿命は男50.06年、女53.96年と50年を上回った。その後、男は昭和30年の第10回生命表で60年、昭和50年の第14回生命表で70年、平成27年の第22回生命表で80年を上回り、女は昭和25-27年の第9回生命表で60年、昭和35年の第11回生命表で70年、昭和60年の第16回生命表で80年を上回った。（表2）

表2 主な年齢の平均余命の年次推移（完全生命表）

（単位：年）

	年次		男						女					
	西暦	和暦	0歳	20	40	65	75	90	0歳	20	40	65	75	90
第1回	1891-1898	明治24-31年	42.8	39.8	25.7	10.2	6.2	2.6	44.3	40.8	27.8	11.4	6.7	2.7
2	1899-1903	32-36	43.97	40.35	26.03	10.14	6.00	2.22	44.85	41.06	28.19	11.35	6.61	2.36
3	1909-1913	明治42-大正2	44.25	41.06	26.82	10.58	6.31	2.38	44.73	41.67	29.03	11.94	7.09	2.61
4	1921-1925	10-14	42.06	39.10	25.13	9.31	5.31	1.95	43.20	40.38	28.09	11.10	6.21	2.04
5	1926-1930	大正15-昭和5	44.82	40.18	25.74	9.64	5.61	2.17	46.54	42.12	29.01	11.58	6.59	2.24
6	1935-1936	10年度	46.92	40.41	26.22	9.89	5.72	2.14	49.63	43.22	29.65	11.88	6.62	2.09
8	1947	昭和22年	50.06	40.89	26.88	10.16	6.09	2.56	53.96	44.87	30.39	12.22	7.03	2.45
9	1950-1952	25-27	59.57	46.43	29.65	11.35	6.73	2.70	62.97	49.58	32.77	13.36	7.76	2.72
10	1955	30	63.60	48.47	30.85	11.82	6.97	2.87	67.75	52.25	34.34	14.13	8.28	3.12
11	1960	35	65.32	49.08	31.02	11.62	6.60	2.69	70.19	53.39	34.90	14.10	8.01	2.99
12	1965	40	67.74	50.18	31.73	11.88	6.63	2.56	72.92	54.85	35.91	14.56	8.11	2.96
13	1970	45	69.31	51.26	32.68	12.50	7.14	2.75	74.66	56.11	37.01	15.34	8.70	3.26
14	1975	50	71.73	53.27	34.41	13.72	7.85	3.05	76.89	58.04	38.76	16.56	9.47	3.39
15	1980	55	73.35	54.56	35.52	14.56	8.34	3.17	78.76	59.66	40.23	17.68	10.24	3.55
16	1985	60	74.78	55.74	36.63	15.52	8.93	3.28	80.48	61.20	41.72	18.94	11.19	3.82
17	1990	平成2	75.92	56.77	37.58	16.22	9.50	3.51	81.90	62.54	43.00	20.03	12.06	4.18
18	1995	7	76.38 (76.46)	57.16 (57.22)	37.96 (38.00)	16.48 (16.50)	9.81 (9.82)	3.58 (3.58)	82.85 (82.96)	63.46 (63.55)	43.91 (43.98)	20.94 (20.98)	12.88 (12.90)	4.64 (4.65)
19	2000	12	77.72	58.33	39.13	17.54	10.75	4.10	84.60	65.08	45.52	22.42	14.19	5.29
20	2005	17	78.56	59.08	39.86	18.13	11.07	4.15	85.52	65.93	46.38	23.19	14.83	5.53
21	2010	22	79.55	59.99	40.73	18.74	11.45	4.19	86.30	66.67	47.08	23.80	15.27	5.53
22	2015	27	80.75	61.13	41.77	19.41	12.03	4.27	86.99	67.31	47.67	24.24	15.64	5.56

注：平成7年の（ ）内は阪神・淡路大震災の影響を除去した値である。

(2) 生命表上の生存及び死亡状況

ア 死亡率 (q_x)

平成 27 年の第 22 回生命表の死亡率を平成 22 年の第 21 回生命表と比較すると、男女ともほとんどの年齢で低下している。

死亡率の年次推移をみると、昭和 50 年の第 14 回生命表から第 22 回生命表において、男女とも 0 歳から 10 歳代及び 70 歳代の低下が大きくなっている。(図 1-1、図 1-2)

イ 死亡数 (d_x)

10 万人の出生者が生命表上の年齢別死亡率に従って死亡していくとした場合の死亡数をみると、平成 27 年の第 22 回生命表において、男女とも 70 歳代から急激に増加し、男では 87 歳 (4,127 人)、女では 92 歳 (5,025 人) でピークを迎えた後、急激に減少している。生命表における死亡数のピークは、回を追うごとに高齢に移動している。(図 2-1、図 2-2)

ウ 生存数 (l_x)

10 万人の出生者が生命表上の年齢別死亡率に従って死亡していくとした場合の生存数をみると、ほとんどの年齢において回を追うごとに増加している。また、寿命中位数(出生者の半数が生存すると期待される年数)は、平成 27 年の第 22 回生命表において、男 83.76 年、女 89.79 年で、回を追うごとに延びている。(表 3、図 3-1、図 3-2)

表 3 寿命中位数の年次推移(完全生命表)

(単位：年)

和暦	男	女
	寿命中位数	寿命中位数
昭和22年	59.28	64.45
25-27	67.22	71.31
30	69.79	74.19
35	70.66	75.44
40	72.00	77.04
45	73.10	78.19
50	75.31	80.17
55	76.69	81.75
60	78.06	83.38
平成2	79.13	84.71
7	79.49	85.73
12	80.74	87.41
17	81.56	88.34
22	82.60	89.17
27	83.76	89.79

注：昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。

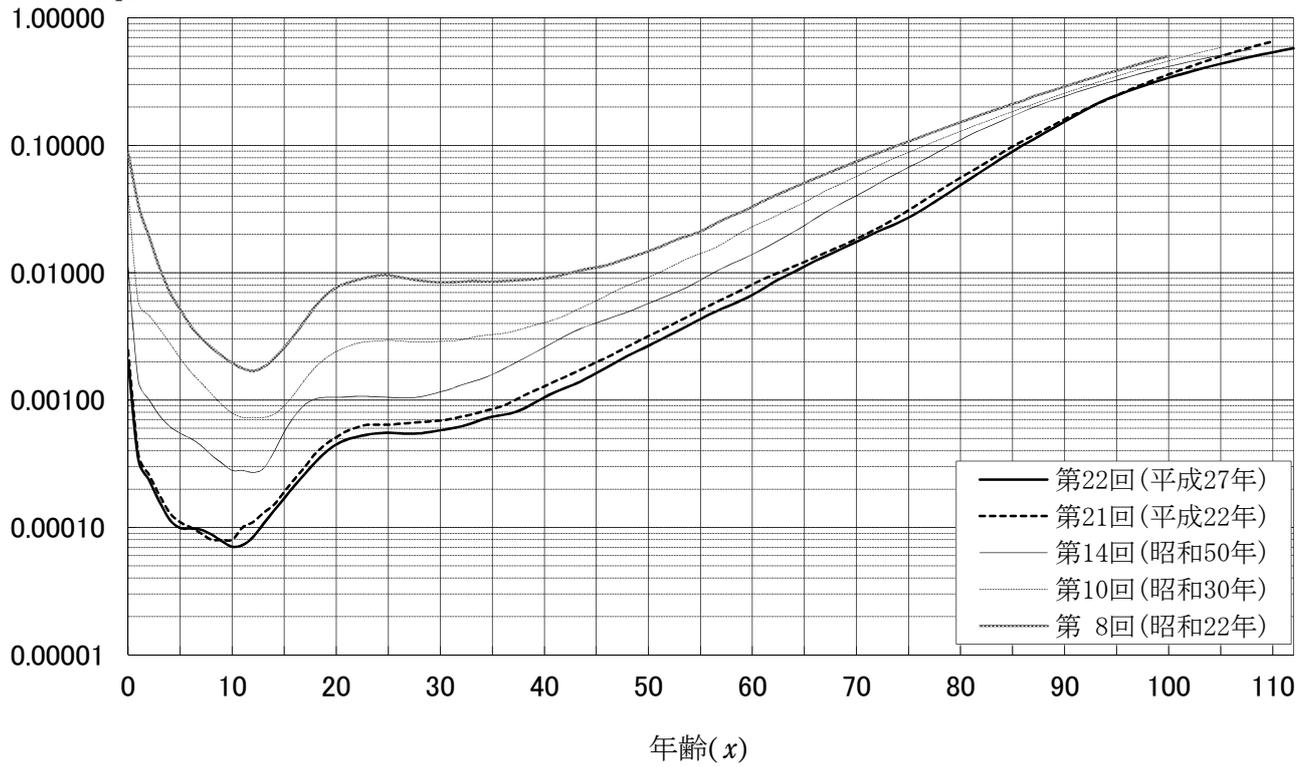
エ 平均余命 (e_x^o)

平成 27 年の第 22 回生命表において、0 歳における平均余命(平均寿命)は、男 80.75 年、女 86.99 年となっている。20 歳における平均余命は、男 61.13 年、女 67.31 年、65 歳における平均余命は、男 19.41 年、女 24.24 年となっている。

平均余命の年次推移をみると、各年齢とも回を追うごとに延びている。(表 2、図 4-1、図 4-2)

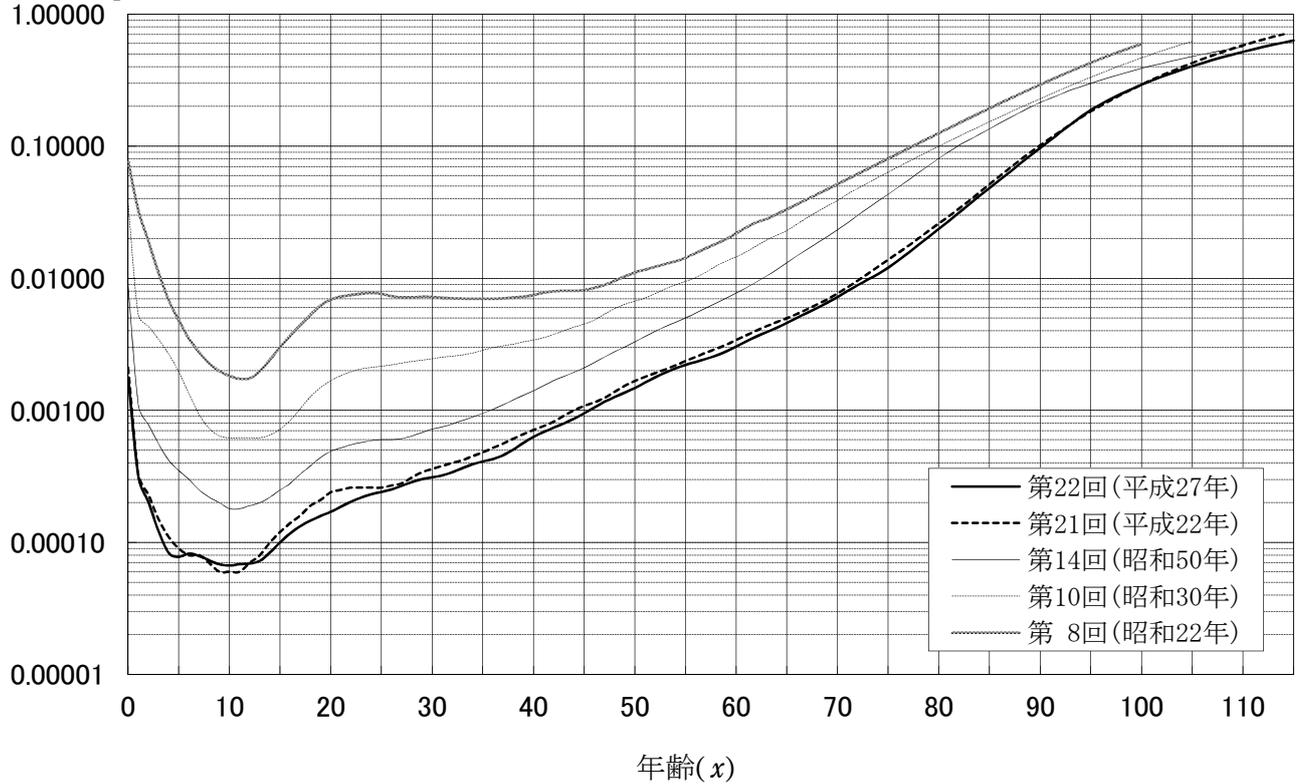
死亡率(q_x)

(図 1-1) 死亡率の推移 (男)

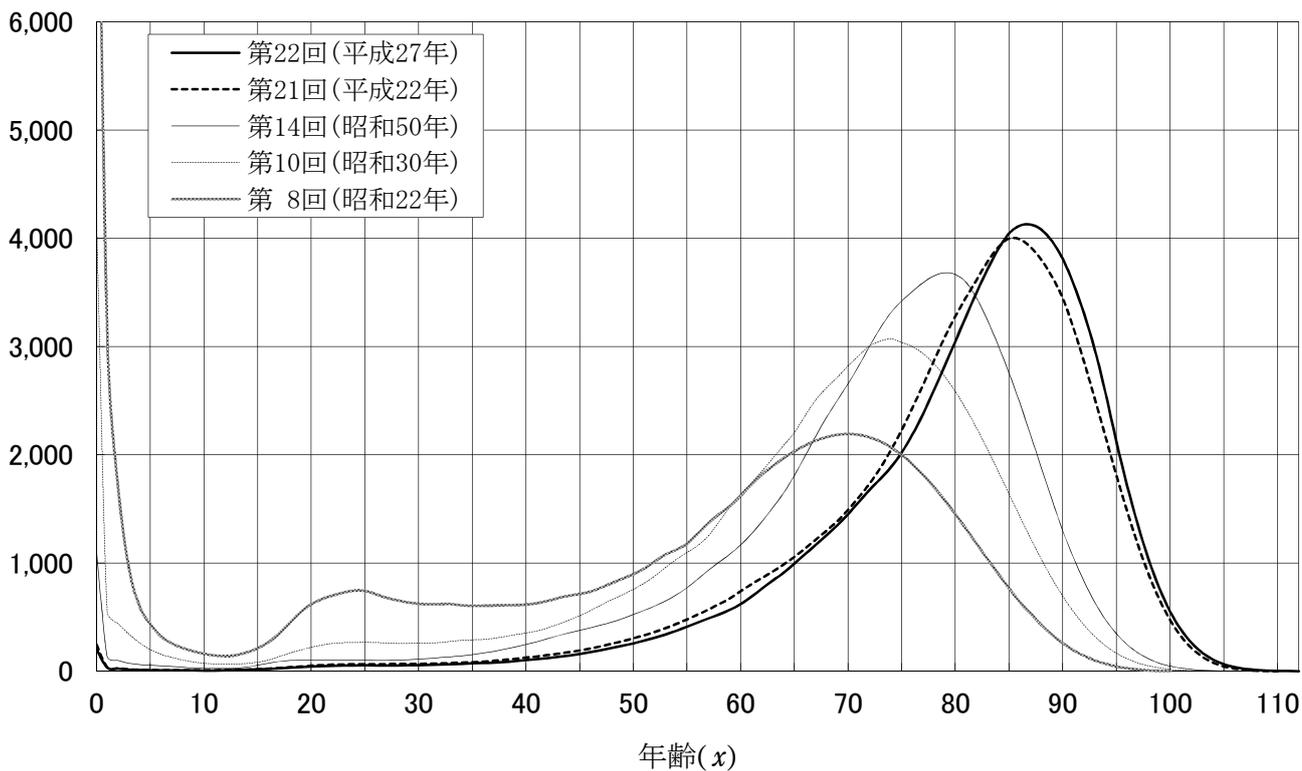


死亡率(q_x)

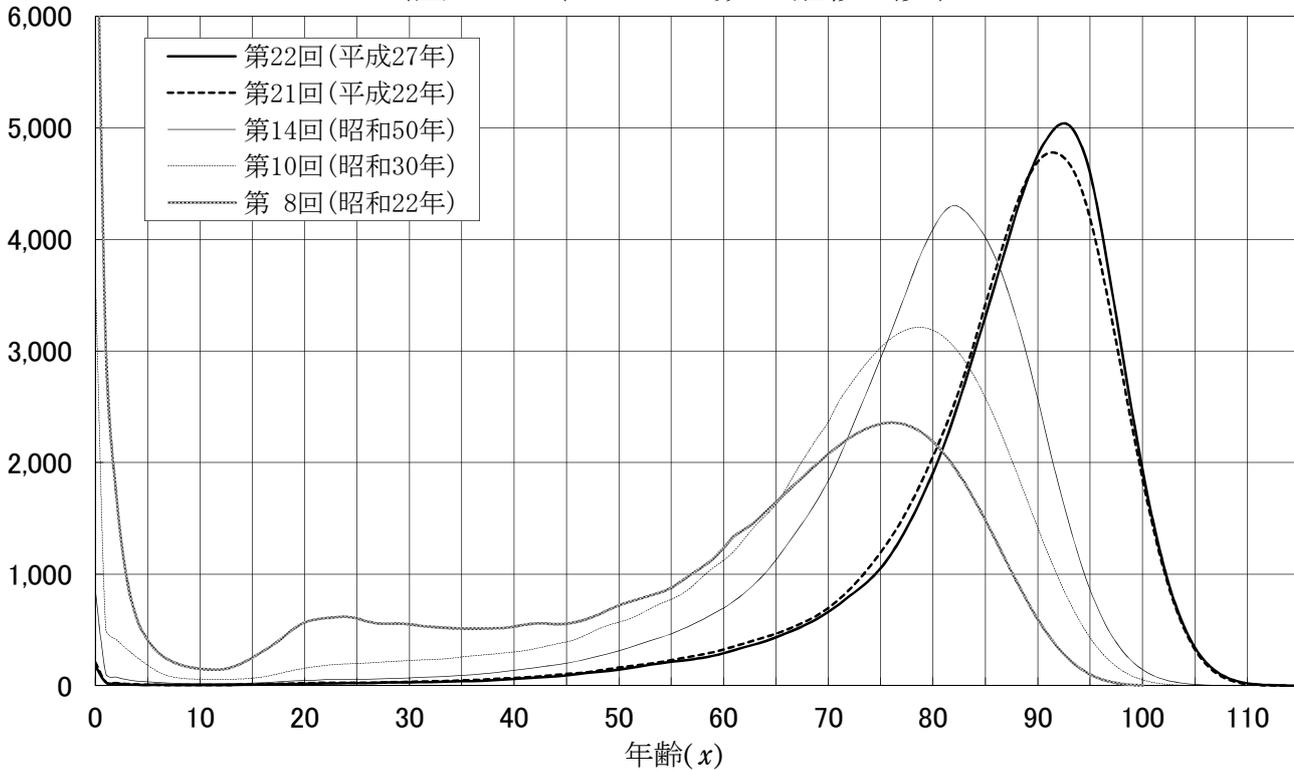
(図 1-2) 死亡率の推移 (女)



死亡数(d_x) (図2-1) 死亡数の推移 (男)

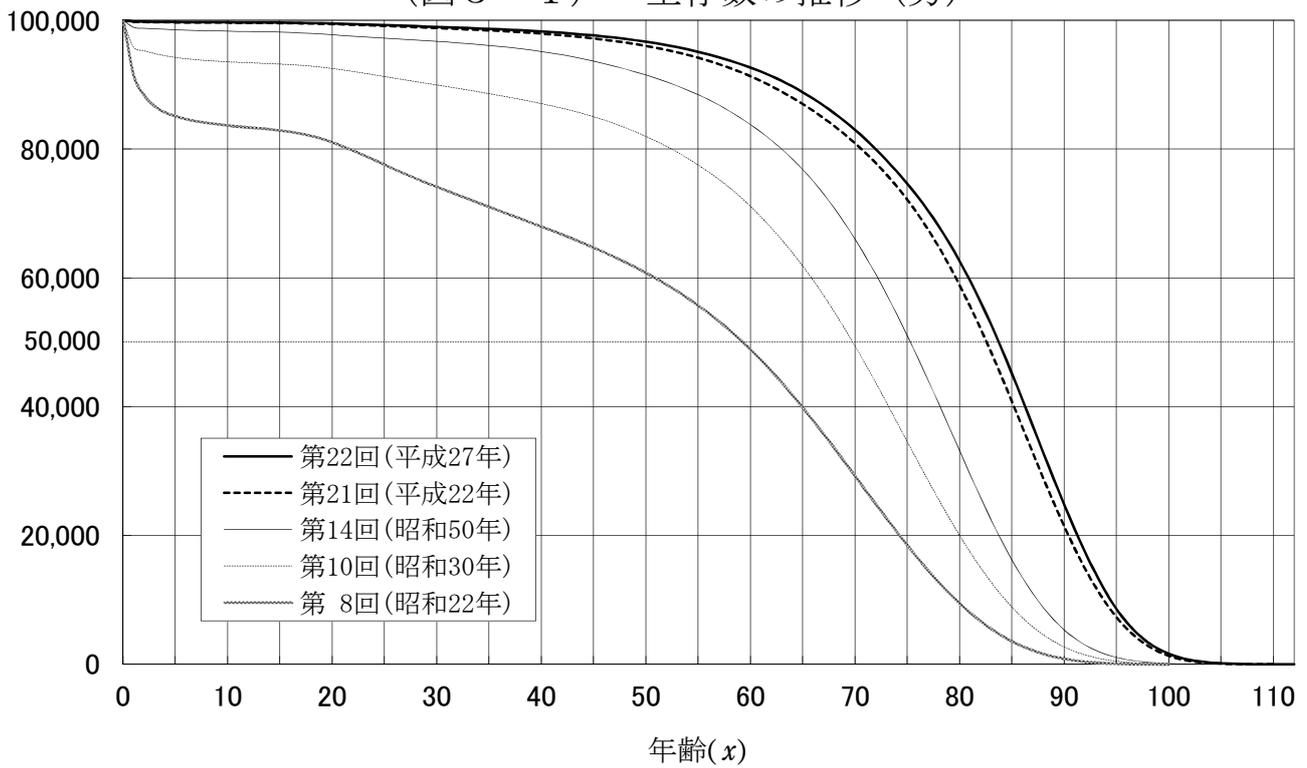


死亡数(d_x) (図2-2) 死亡数の推移 (女)



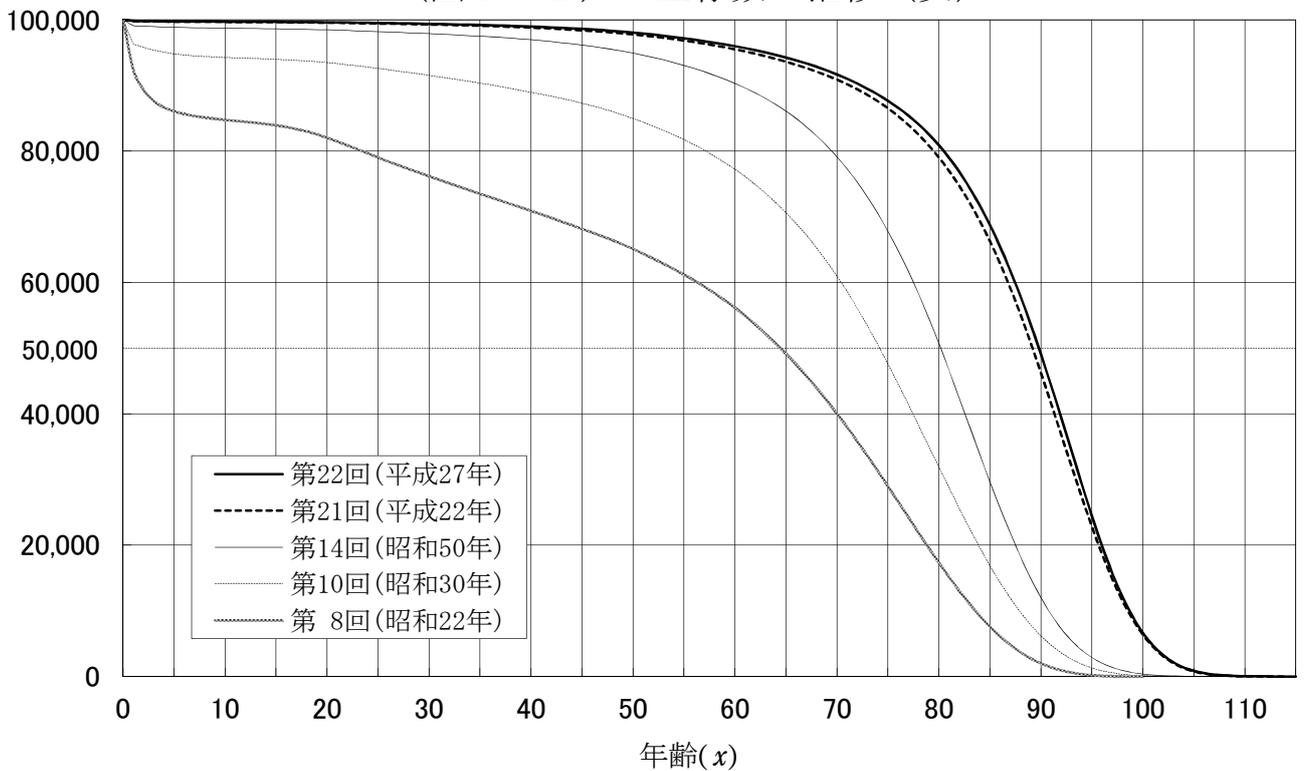
生存数(l_x)

(図 3 - 1) 生存数の推移 (男)



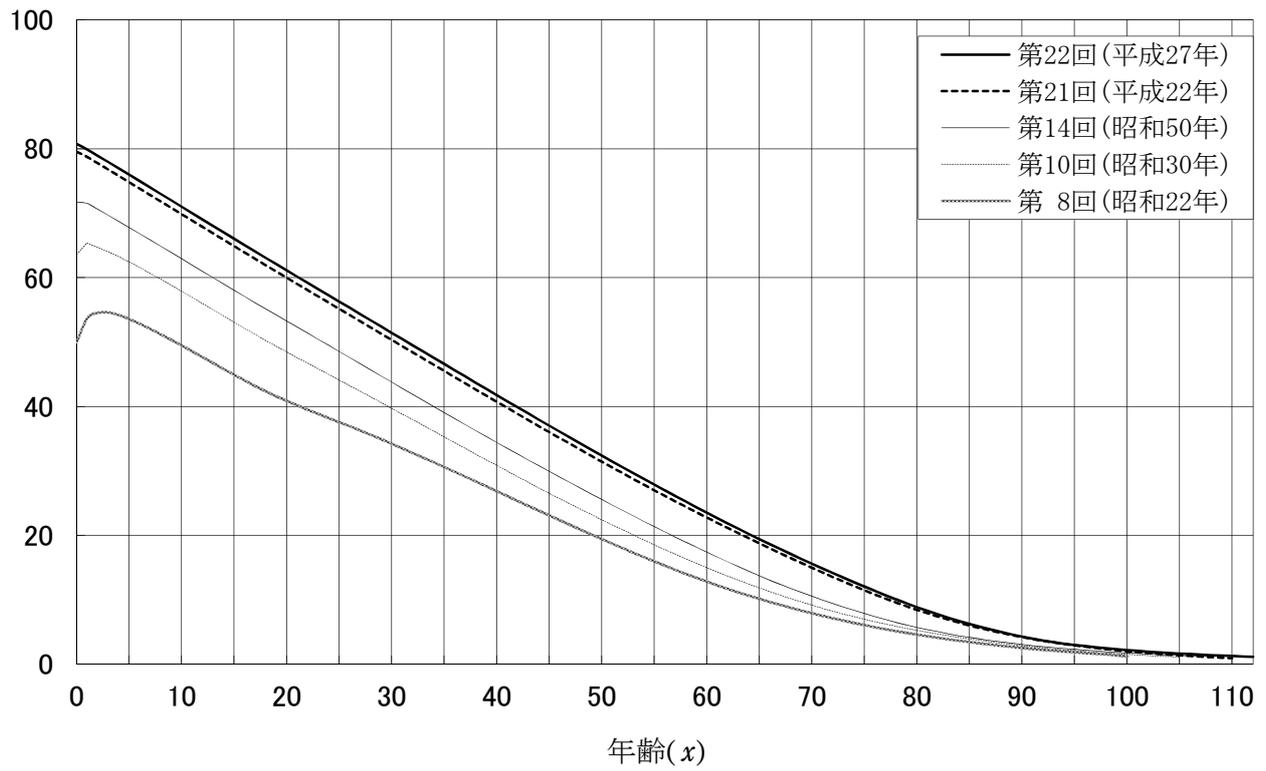
生存数(l_x)

(図 3 - 2) 生存数の推移 (女)



平均余命(e_x)

(図4-1) 平均余命の推移 (男)



平均余命(e_x)

(図4-2) 平均余命の推移 (女)

